

Record of the Day

シュヴァーブ トム Tomas Svab

2022年11月02日(水) - 11月19日(土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)

写真技法のひとつにサイアノタイプというのがあります。サイアノタイプは日光写真ともいわれ19世紀中頃に発明されました。かつて図面の印刷に使われていた青写真もサイアノタイプです。サイアノタイプは鉄塩を塗布した紙に日光が当たると感光して深みのある青になる現象を利用します。

シュヴァーブ トムは近年その技法を用いた作品を発表しています。彼は鉄塩を塗った感光紙を回転ステージ上に置いて24時間で1回転する装置を作りました。それを屋根の上に置くと、蓋に施されたスリットから入りこむ移ろう光の印影が1枚の紙に現れます。それは太陽の光が描く、ある1日。

本展では、サイアノタイプの作品とシュヴァーブ自作の装置も展示、実演します。

+1art



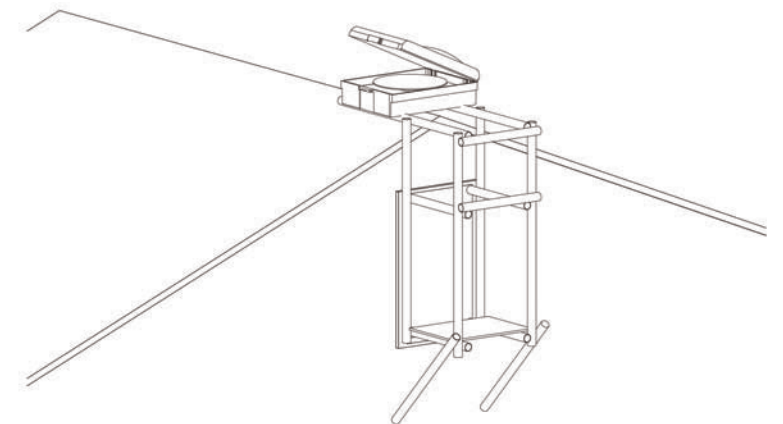
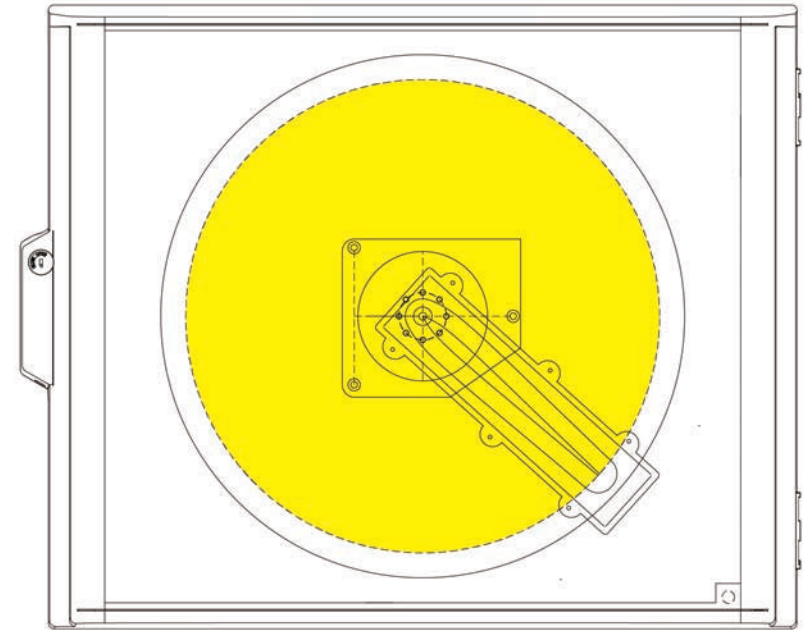
《Record of the Day》

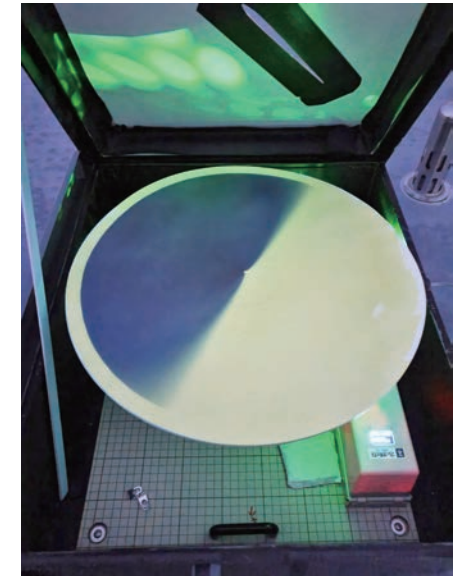
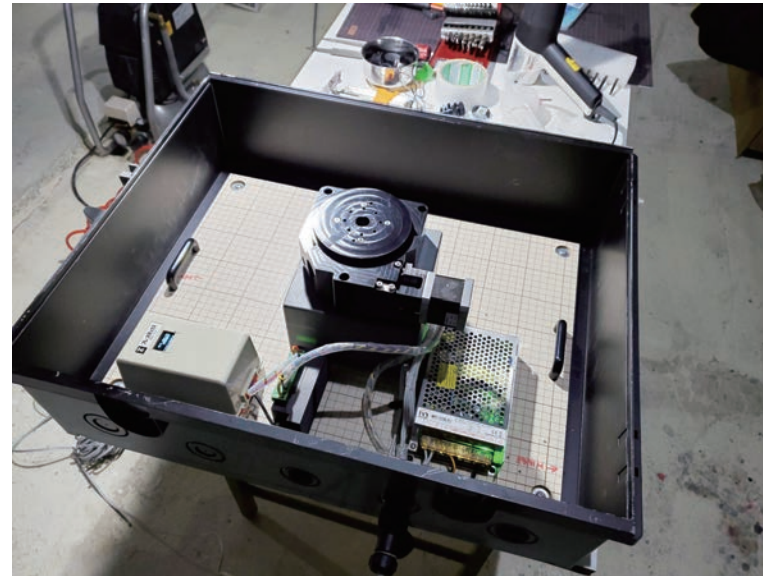
写真 / サイアノタイプ、水彩紙 / 430x430mm / 2022

| 展示作品 |

インスタレーション

- ・写真 / サイアノタイプ、水彩紙 (430 x 430 mm) 約 10 点、
- ・カメラ装置 (W 600 x D 500 mm x H 200 mm)





カメラ装置 / W600xD500xH200mm / 2022

シ
ユ
ヴ
ア
ー
ブ
ト
ム

Tomas Svab

「Record of the Day」は、モーター付きカメラ・オブスキュラで、この1年間の日々を撮影した写真作品のコレクションである。

ここでは太陽が鉛筆となり、雲が色相を和らげ、嵐は影を描く。これらがサイアノタイプ用の紙と反応しながら進んでいく。

我々の意識もまた太陽から発展していく。概念が夜明けを超えるまで徐々に色合いと深みを帯びさせていくと同時に、我々の存在もしっかりとその日に同期している。

現実か想像を問わず、どのような瞬間にも意味がある —すべてのものの相対性— 数分、長い時間も手をあげれば影ができる。時間は、地平線に投影された揺らめく線である。



チェコ・プラハ生まれ。不確実な政治情勢により、6歳の時に家族でカナダに移住する。エミリー・カー芸術大学写真学科を卒業。映画制作現場からの経験を活かし、写真や機械を通して従来の先入観にとらわれず、多様に表現すること、また構成要素としての自己を認識することが、彼の作品に繰り返されるテーマである。作品はこれまで北米、ヨーロッパ、アジアで展示・コレクションされている。トロントのモントリオール銀行においては、カナダ国内にて最優秀賞を受賞した科学と美学を融合させた写真作品が所蔵されている。